

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	126	1年	後期	看護学科	必修	統計学 Statistics	30	1
担当教員								
小西 敏雄*								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
○	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
統計学の基礎を学び、実験データ、調査データの処理や解釈を学び、科学的思考を身につける。								
到達目標（授業目標）								
統計学の基礎的な考え方と分析方法を習得する。								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	統計データをさがそう：統計調査、政府統計、基幹統計、統計データ、実験データ、観察データ							
2回	データのばらつきを調べる：質的変数・量的変数、平均、中央値、分散、標準偏差、外れ値							
3回	一部から全体を知る～標本調査：全数調査、標本調査、母集団、標本、標本誤差、二項分布							
4回	一部から全体の特徴を当てる：仮説検定、有意水準、p値、点推定、標準誤差、区間推定、信頼度							

5回	離散から連続へ：連続型確率変数、確率密度関数、正規分布、標準化								
6回	母集団の分布を調べる：母集団、標本、標本平均、標本の偏り、無作為抽出、正規分布、t分布								
7回	介入効果を調べる：2群の比較、t検定、等分散性の検定、ウェルチの検定								
8回	中間試験：前半のまとめと復習								
9回	順位を用いて介入効果を評価する：2群の比較、ウィルコクソン順位和検定、タイ								
10回	割合の違いを検討する：カイ2乗分布、ピアソンのカイ2乗検定、直接確率法、オッズ比								
11回	必要な標本サイズを決定しよう：検出力、例数設計、t検定、カイ2乗検定								
12回	2つの変数はどんな関係：散布図、共分散、相関係数、標準化、回帰直線、2×2分割表								
13回	薬の量と効き目の関係は？：用量反応関係、ロジスティック曲線、半数有効用量、判別率								
14回	打ち切りデータに慣れよう：生存時間、右側打ち切り、 Kaplan・マイヤー曲線								
15回	同じ土俵で比べよう、まとめ：背景要因、年齢調整済死亡率、層別化、交絡因子、偏相関係数								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
定期試験（70%）、提出課題（30%）で評価する。トータル60点以上を合格とする。									
教科書	藤井良宣・佐藤健一・富田哲治・和泉志津恵『医療系のための統計入門』、実教出版								
参考図書等	補助資料として、プリントを準備・配布する。								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
教科書該当箇所の予習（2時間）、課題等にとりくむ復習（2時間）を行ってください。									
関連科目									
前科目	127 統計学演習								
後科目	173 保健統計学	174 保健統計学演習							
実務家教員									
備考	各自、電卓を持参すること。また、パソコンを使用した演習問題の解き方の解説も行うので、可能な人は、Excel2016以降のExcelがインストールされたパソコンで自習すること。								